

令和6年度第1回
聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議資料

第2期聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略 に係る効果検証について

- (1) 基本目標1(しごとづくり)に係る効果検証
- (2) 基本目標2(結婚・出産・子育て)に係る効果検証
- (3) 基本目標3(まちづくり)に係る効果検証

別添 第2期聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略実施計画・検証シート

聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議事務局

(1) 基本目標1(しごとづくり)に係る効果検証

基本目標1:しごとづくり ~地域資源を活かした魅力ある産業を形成する~

町の基幹産業である農業の振興や地域の産業づくり、地域資源や観光資源を活かした交流人口の拡大、工業地帯における立地企業の設備投資による規模拡大と未操業地への企業進出を促進し、地域産業の活性化と雇用の創出を図ります。

【数値目標・施策】

KPI	基準値	→	目標値(2024)
固定資産税収	【2018決算】 31億9千万円		【2023決算】 31億9千万円

施策
①地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備
②地域資源を活かした広域連携による観光振興
③新潟東港を核とした経済振興

【KPIの実績】

2019	2020	2021	2022	2023【実績】
32億3千万円	32億円	33億4千万円	32億7千万円	確定 32億2千万円

【進捗状況・評価】

- KPIは各年で目標値を上回り、順調に推移した。
- KPIの達成に当たっては、施策「③新潟東港を核とした経済振興」が一定程度寄与したものとする。
- 一方で、施策①・②において取り組んだ農業・観光振興については、新型コロナウイルス禍で事業の中止等を余儀なくされたものもあり、地域産業の活性化に向けてさらなる推進を図りたい。

(1) 基本目標1(しごとづくり)に係る効果検証

基本目標1:しごとづくり ~地域資源を活かした魅力ある産業を形成する~

事業内容	KPI	2019基準値	2024目標値	実績値	進捗状況・評価
①地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備					
1 ふるさと納税を活用した地場産品の発信	ふるさと納税寄附額 (年度決算額)	4,000万円	3億1,000万円	3億5,123万円 (2023)	・KPIは目標値を上回り推移 ・R5年度途中から中間事業者を導入し、米を中心とした返礼品開発・情報発信強化に取り組んでいる。
2 「チャレンジ育成型」の取組	販路拡大に取り組む生産者支援件数	—	10件 (2020-2024累計)	12件 (2020-2023)	・KPIは2023年度時点で目標値を達成 ・事業の効果検証により、販路拡大に係るノウハウの蓄積を中長期的に進め、最終的には生産者全体への展開を目標とする。
3 新規就農者確保対策事業	新規就農者認定件数	6人 (2015-2019累計)	6人 (2020-2024累計)	6人 (2020-2023累計)	・KPIは2023年度時点で目標値を達成 ・サポートチームによる訪問・面談等による就農者の育成
4 ほ場整備を契機とした営農体系構築	担い手集積率 (認定農業者・認定新規就農者が町内で耕作する面積／町の全農地面積)	60.1%	75.0% (~2024)	71.5% (~2023)	・KPIは概ね順調に推移 ・農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積により農作業の省力化・効率化
②地域資源を活かした広域連携による観光振興					
1 レジャー、スポーツを通じた地域振興	海のレジャーイベント参加者数	365人	800人	711人 (2023)	・KPIは概ね順調に推移 ・コロナ禍により実施できていなかった聖籠町長杯サーフィン大会を2023年度に初開催
2 広域的観光周遊ルート整備	観光周遊ルート数	—	1ルート (~2024)	1ルート (~2023)	・KPIは2023年度時点で目標値を達成 ・村上・新発田エリアの観光ルート(聖籠町は果樹PR)を作成し、旅行会社向けの県外商談会資料として活用
③新潟東港を核とした経済振興					
1 立地企業の規模拡大・未操業地への進出促進	新規進出又は規模拡大の件数	25件 (2015-2019累計)	35件 (2020-2024累計)	31件 (2020-2023累計)	・KPIは順調に推移(2023年度 新規進出・規模拡大6件) ・企業立地促進制度(奨励金)による新規進出・規模拡大の促進

(2) 基本目標2(結婚・出産・子育て)に係る効果検証

基本目標2:結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚したいと望む人たちが希望どおりに結婚ができ、安心して子どもを産み育てられるよう社会状況の変化に応じた出産や子育てのサポート体制を充実させるとともに、子育てと仕事が両立できる環境整備の推進、未来を創る子どもたちへの教育内容の充実を図ります。

【数値目標・施策】

KPI	基準値	→	目標値(2024)
合計特殊出生率※	【2014-2018平均】 1.88		【2019-2024平均】 1.92

※ 新潟県「人口動態統計(確定数)の概況」

施策
①結婚の希望をかなえる
②安心して子育てできる家族への応援
③子育てしながら働ける環境整備
④未来を創る子どもの育成

【KPIの実績】

2019	2020	2021	2022	2023	【実績】
1.6	1.91	2.09	1.29	(R6.9公表予定)	【2019-2022平均】 未確定 1.72

【進捗状況及び評価】

- ・ 現時点では2023実績を未反映であるが、**目標値は未達成となる見込み**。(達成には2023実績「2.71以上」を要する)
- ・ 当町においては、**他自治体よりも合計特殊出生率の推移は良好**である。(2023年 全国:1.20、新潟県:1.23)
- ・ 合計特殊出生率の変動要因は、未婚化・晩婚化の進展(意識の変化)、出産・育児の経済的負担、女性人口・子育て世代の流入など、多岐に及ぶものである。
 ※**人口規模の小さい市町村の「合計特殊出生率」は偶然変動の影響を大きく受ける**ため取扱上注意が必要とされている。

(2) 基本目標2(結婚・出産・子育て)に係る効果検証

基本目標2:結婚・出産・子育ての希望をかなえる

事業内容	K P I	2019基準値	2024目標値	実績値	進捗状況・評価
①結婚の希望をかなえる					
1 婚活事業の推進	婚活イベント参加者の平均カップル率	38% (2017-2018平均)	42% (2020-2024平均)	46.1% (2020-2023平均)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは目標値上回り推移 ・結婚の後押し及び結婚後の支援として結婚新生活支援補助金を実施(2021年度～)
②安心して子育てできる家族への応援					
1 誕生祝金・子育て支援金の支給	誕生祝金受給者数 (第1～3子:5万円,第4子～:10万円)	110人	110人	115人 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは順調に推移 ・支援金 延べ446件(第4子～:就学前まで月5千円)
2 子ども家庭支援体制の充実	町全体の相談件数 (子ども家庭相談センターの受付件数)	399件	400件	407件 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは順調に推移 ・2024年度からは児童福祉法改正による「こども家庭センター」を新たに設置し、全ての妊産婦、子育て世代、こどもへの一体的な相談支援を実施
3 仕事と子育ての両立の応援	待機児童数	0人	0人	0人 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは順調に推移 ・3歳未満時の保育需要が増加傾向にあることを踏まえ、新たに私立保育所を整備(2025年度開設予定)
4 「そだちの家」の活用	預かり保育以外の利用者数	20人	1,500人	3,424人 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは2023年度時点で目標値を大幅に上回った。 ・2022年度～子育て支援センターを開始したところ、利用人数が大幅に増加 ・2023年度からは土日開放を実施
③子育てしながら働ける環境整備					
1 男女共同参画社会・女性活躍推進	ハッピー・パートナー企業登録数	7件 (～2018)	20件 (～2024)	12件 (～2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIの目標値達成は難しい見込み(2023年度新規登録1件) ・仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備を促進するため、引き続き企業への働きかけが必要

(2) 基本目標2(結婚・出産・子育て)に係る効果検証

基本目標2:結婚・出産・子育ての希望をかなえる

事業内容	K P I	2019基準値	2024目標値	実績値	進捗状況・評価
④未来を創る子どもの育成					
1 プログラミング教育の促進	プログラミングが楽しい・好きという割合	—	80%	91.6% (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは目標値上回り推移 ・KPIをプログラミング教育の理解度を図る指標に変更することや、ICT教育環境の整備・活用と連動した事業とすることについて検討が必要
2 地域に愛着をもつグローバル人材育成	中学生英検3級合格者	14%	40%	11.4% (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは基準値と同程度の水準で推移しており、目標達成は難しい見込み ・英検検定料補助、イングリッシュキャンプ等を実施 ・KPIを国指標に合わせて「英検3級レベル以上の生徒数」に変更することについて検討が必要
3 可能性を育む幼児教育の推進	幼稚園教育の肯定的評価の割合	—	80%以上	100% (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは目標値上回り推移 ・園教諭の専門性や資質向上を図るため、園小連携体制の推進研修の実施、教材の整備等を実施
4 学校の働き方改革の推進	教員の月45時間超の時間外勤務	60人	0人	22人 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは基準値からの改善は見られるが、目標値の達成は難しい見込み ・学校の働き方改革のさらなる推進に向け、デジタル技術の積極的な活用を含めた教員の業務効率化について検討が必要

(2) 基本目標2(結婚・出産・子育て)に係る効果検証

基本目標2:結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙調査において、高めてもらいたい質問項目の断定的肯定割合※】

施策	K P I	小 学 校			中 学 校		
		2019基準値	2024目標値	2023実績値	2019基準値	2024目標値	2023実績値
④未来を創る子どもの育成	自分にはよいところがある	51.6%	70%	33.3%	25.8%	50%	37.9%
	将来の夢や希望を持っている	72.2%	90%	51.6%	40.9%	60%	31.0%
	難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している	38.9%	60%	—	26.5%	50%	—
	人が困っているときは、進んで助けている	55.6%	80%	47.1%	36.4%	60%	37.9%
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	88.1%	100%	88.2%	84.8%	100%	75.9%
	人の役に立つ人間になりたいと思う	81.0%	90%	76.5%	68.9%	90%	69.0%
	地域の行事に参加している	56.3%	80%	34.6%	19.7%	40%	19.5%
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	29.4%	50%	34.6%	12.1%	30%	28.7%
	話し合いを通じて考えを深めたり広げたりしている	38.9%	60%	38.6%	23.5%	40%	40.2%
	授業で毎日PC等のICTを活用している	7.1%	80%	50.3%	78.0%	100%	66.7%
	授業で毎日PC等のICTを活用したい	60.3%	80%	—	39.4%	60%	—
	外国の人と友達になったり、外国のことを知ったりしてみたい	—	80%	35.3%	—	60%	24.1%
	日本に住んでいる地域のことを外国の人に知ってもらいたい	—	80%	39.2%	—	60%	24.1%

※断定的肯定割合：質問に対する回答が「①思う、②だいたい思う、③あまり思わない、④思わない」の場合における①の割合

(3) 基本目標3(まちづくり)に係る効果検証

基本目標3:まちづくり ~住み続けたいまちをかたちづくる~

住民の安全で安心できる暮らしを確保し、いつまでも住み続けたいと思ってもらえるまちづくりのために、超高齢社会へ対応する健康長寿への取組強化、地域交通の維持・確保、行政と地域コミュニティや住民との円滑な意思疎通を深めながら地域の防災・減災など安全の確保を図ります。

【数値目標・施策】

KPI	基準値	目標値(2024)
住み続けたい人の割合	【2019アンケート】 62.9%	【2024アンケート】 70%
社会増減数※1,2	【2014-2018】 ▲148人	【2019-2023】 +69人

※1 新潟県「新潟県人口移動調査」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
 ※2 外国人の社会増減数除く

施策
①地域コミュニティの振興・人材育成
②民間活力を活用した移住・定住の促進
③生涯活躍のまち構想の実現に向けた取組
④地域公共交通手段の確保
⑤防災対策の推進

2024アンケート集計中

【KPIの実績】

	2019	2020	2021	2022	2023	【実績】
住み続けたい人の割合	62.9%	—	—	53.5%	—	【2022アンケート】 未確定 53.5%
社会増減数	▲55人	▲60人	▲78人	82人	▲14人	【2019-2023】 確定 ▲125人

【進捗状況・評価】

- ・「住み続けたい人の割合」は、2022年に実施した中間アンケートでは基準値(2019)を10ポイント程度下回った。
- ・「社会増減数」は、2022年に7年ぶりに増加に転じたものの、最終的には基準値(2014-2018)と同程度の減となった。
- ・ **いずれの指標も未確定であるが、目標達成は困難な状況であり、次期においては地域幸福度(Well-Being)指標の活用等により、効果的な施策を検討したい。**

(3) 基本目標3(まちづくり)に係る効果検証

基本目標3:まちづくり ~住み続けたいまちをかたちづくる~

事業内容	K P I	2019基準値	2024目標値	実績値	進捗状況・評価
①地域コミュニティの振興・人材育成					
1 集会用施設建設維持補助・地域振興支援	要望に対する補助件数割合 (集会用施設建設維持補助事業の補助件数/要望件数)	—	100%	100% (2023)	・KPIは順調に推移(2023年度公会堂改修等への補助6件) ・地域コミュニティの抱える課題解決を目的とした新たなコミュニティ振興事業については集落からの要望が少ないこともあり未実施であり、次期戦略策定に併せて改めて検討が必要
2 まちづくり創生大学による人材育成	まちづくり創生大学年間修了者数 ※2023年度以降は単発講座の参加数をカウント	14.5人 (2016-2019平均)	15人 (2020-2024平均)	4.75人 (2020-2023平均)	・KPIの目標値達成は難しい見込み ・コロナ禍により2020年度～2022年度は開催できておらず、2023年度以降は単発講座形式で開催(2023年度単発講座参加者:19人)
②民間活力を活用した移住・定住の促進					
1 住宅建築による定住の促進	町内新築建築数	352件 (2014-2018累計)	352件 (2019-2023累計)	397件 (2019-2023累計)	・KPIは順調に推移し、目標値を達成 ・開発事業者の相談に対する助言指導、暮らし応援事業による住宅取得への補助(2023年度実績44件)
2 空き家の利活用の促進	空き家解消件数	19件 (2016-2019累計)	45件 (2020-2024累計)	34件 (2020-2023累計)	・KPIは順調に推移 ・空き家等対策計画を2024年度中に策定するべく対応中

(3) 基本目標3(まちづくり)に係る効果検証

基本目標3:まちづくり ~住み続けたいまちをかたちづくる~

事業内容	K P I	2019基準値	2024目標値	実績値	進捗状況・評価
③生涯活躍のまち構想の実現に向けた取組					
1 生涯活躍のまち構想の実現	活動がない高齢者の割合	週1回:29.6% 月1回:21.8% (2017アンケート)	週1回:20%以下 月1回:10%以下 (2023アンケート予定)	週1回:48.7% 月1回:41.5% (2022アンケート)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは未達成となった。(当初予定していたアンケートを未実施のため、代替調査による対応としたため、「対象年齢」、「活動項目」が2017アンケートと異なる。) ・戦略策定時には活動できる高齢者と地域ニーズとのマッチング体制整備を計画していたが、町民ニーズや実施体制等の課題から、「地域のお茶の間」の増加を図る取組にシフト(地域のお茶の間の開設数:15か所) ・生きがい健康づくり事業との連動・見直しが必要
2 健康づくりポイ活事業	国保特定健診受診率	53.0% (2018)	60.0%	55.5% (2023) ※R6.9確定予定	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは改善の傾向だが目標を下回る水準で推移(2020-2023平均:53.4%) ・2023年度ポイ活事業参加者数 1,823人 ・生きがい健康づくり事業との連動・見直しが必要
④地域公共交通手段の確保					
1 循環バスの運行	年間延べ利用者数	34,399人	60,000人	64,938人 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは2023年度時点で目標値を達成 ・利便性の向上を図るためダイヤ改正、回数券の導入等を実施 ・運転員不足や町の財政負担などの課題に対応した持続可能な公共交通体系を構築するため、様々な運行形態の検討が必要
2 高齢者タクシー利用料金の助成	交付枚数(金額)に対する使用割合	57.2%	70.0%	63.4% (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは改善の傾向だが目標を下回る水準で推移(2020-2023平均:64.9%) ・2023年度 交付人数484人 ・高齢者の社会参加促進のため事業継続の方針
⑤防災対策の推進					
1 防災行政無線のデジタル化	戸別受信機貸出件数・SNSフォロワー数合計	—	6,500件 (~2024)	6,612件 (~2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは2023年度時点で目標値を達成 2024.3.31時点: LINE 2,986件、X 900件、個別受信機 2,726件